

(兼題)

「嘘」

小豆沢歌子 選

佳句

嘘ついた舌にお灸を据えてやる
病む姉に嘘吐き通し幕下りる
嘘の上手い猫を一匹飼っている
子の嘘と知っても母はだまされる
一つの嘘私の心追いつめる

浜丘
昌枝
寿美
ちかし
美千代

人

嘘ひとつついたしこりが胸にすむ

佐藤 治代

地

ポケットが浅くて嘘がのぞきだす

伊藤 玲子

天

ついた嘘今は大きな実を結ぶ

吉川らんまん

軸吟

雪解けの小川に嘘がひっかかる

小豆沢歌子

(兼題)

「勝る」

岡 あきら 選

佳句

何より勝る母さんの親ごころ
頑張ればあとひといきで追い越せる
経験が勝る貴重な年の功
お日さまに勝るものなし土いじり
長男に「勝」と名づけ期待する

寿美
らんまん
ちかし
美江子
玲子

人

妻の腕男勝りと惚れ直す

今岡 健柳

地

勝るのは我が子と思う親の胸

竹治ちかし

天

男より勝る女房の肝つ玉

三島 浜丘

軸吟

ありがとうに勝る言葉が見つからぬ

岡 あきら

(兼題)

「苗」

銭山 昌枝 選

佳句

苗床をならし私の夢植える
横着の苗がだんだん伸びてきた
鯉のぼり泳ぐ水田に早苗植え
一株の苗を育てる日よ水よ
いつか成る大樹夢見て植える苗

治代
あきら
寿美
桂子
ちかし

人

菊の苗少し冒険したくなる

珍部美江子

地

雑学を溜めて育てる知恵の苗

三島 浜丘

天

間引かれた苗が必死に根をおろす

仲田美千代

軸吟

エンジンの音が消しくてく早苗歌

銭山 昌枝

(席題)

「糸」

竹治ちかし 選

佳句

糸たぐり風の具合を見きわめる
糸口をやつと見つけた夫婦みち
訳あって切らねばならぬ赤い糸
糸クズを拾った背中もう会えぬ

蘭水
弘子
治代
伊藤 玲子

地

迷いの糸パチンと切って跳んでみる

伊藤 玲子

天

テンションを上げると糸が纏れだす

小豆沢歌子

軸吟

釣糸を垂らし至福の小半日

竹治ちかし